

## 令和元（2019）年度卒業式 理事長祝辞

神田外語大学を巣立ちゆく皆さん、ご卒業、誠におめでとうございます。また様々な面で卒業生を支えてこられた保護者の皆さまにも、心からお喜び申し上げます。

今般の新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮して、今年度の卒業式は中止という決定をさせていただきました。開学以来、初めてとなる措置ということもあり、慎重な議論を重ねたうえでの決断となりました。

決断を下すということ、それは、目の前にある問題に対する解答を導き出すことでもあります。

「考えろ。悩むな。」これは私の尊敬する人がくれた言葉で、私の座右の銘です。「悩む」と「考える」の違いは、一体何でしょうか。「悩む」ということはその場で停滞することを意味しますが、「考える」ということは前進することです。つまり、物事を前進させるためのステップを踏めるかどうかの違いなのです。

今回下した決断は、正解が問題集の巻末にあるというような類のものではありませんでした。

それが正しいかどうかは、きっと、今は判らない。時間が経ったあとで、結論が見えてくるものだと思います。ただ、ぐるぐると同じことを思い巡らせ、悩んでいるうちは、結論にはたどり着けません。そうではなく、何のために、解決しなくてはならないのか、という「目的」を見つける必要があるのです。すると、次に、それを達成するための「手段」が見えてきます。この「悩む」というステージから、「考える」というステージに変わったときに、初めて答えは導き出されます。

この春、神田外語大学を卒業して、社会人の道を歩む人、進学・留学をして数年後に社会へ巣立っていく人、皆さんそれぞれスタートのタイミングは異なります。しかし、社会に出た後、誰もが同様に正解のない問題に直面するかと思います。そして、その問題の答えにたどり着くためには、悩むのではなく、考えなくてはならないのです。当然、考えるためには、事前の情報が必要です。その情報を収集する力こそが、コミュニケーション力なのです。皆さんが学んできた語学は、実社会で使いこなすことによって、他者よりも得られる情報の量が圧倒的に多くなります。皆さんは考えるための判断材料を、様々な言語を使って、読み、聞き、そして会話を通して、世界中から得ることができるのです。

人生に学びの終わりはありません。人生は考えることの連続です。だからこそ、みなさんには Lifelong learner（生涯学習者）であってほしいのです。そのような大人へと成長してくための通過点として、この神田外語大学での学びを活かし、それぞれに充実した人生を歩んでもらいたいと思います。皆さんの大いなる活躍を心から祈念して、私からの祝辞といたします。ご卒業、誠におめでとうございます。

2020年3月21日

学校法人佐野学園  
神田外語大学  
理事長 佐野元泰